

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業区分	金額			
					総額	国	県	地示
美術工芸品保存修理	星多喜男	馬頭観音像	県重文	保存修理	千円 580	千円 —	千円 380	千円 200
建造物保存修理	中村神社	中村神社本社		〃	7,626	—	4,230	3,396
史跡環境整備	相馬市	中村城跡	史跡	環境整備	428	—	280	148
文化財保存施設	勝福寺	鐘楼堂	県重文	建設	6,582	—	4,000	2,582
記念物防災施設	棚倉町	二柱神社の大杉	県天記	防災施設	1,600	—	1,060	540
文化財保存施設	〃	八槻都々古別神社の古面	県重有文 民	保管箱の作成	180	—	120	60
史跡管理	相馬市	中村城跡	史跡	航空写真図化	250	—	160	90
		計 10件			25,906	—	15,730	10,176
		総計 42件			321,666	109,824	49,448	162,394

(4) 文化財活用の促進

① 「福島県の文化財」

昭和45年に発行した文化財読本及び同手引きの改訂版として「福島県の文化財」及び同手引きを発行した。

発刊部数 33,000部

配布対象 県内の全小中及び高等学校
市町村教育委員会その他関係機関

② 文化財保護強調週間

11月1日から7日まで、県庁屋上広告板によるPRを行った。

③ 文化財防火デー

毎年1月26日を文化財防火デーと定めているが、県内各消防署等の協力を得て、県下市町村で防火訓練、防火診断、査察を実施した。県教育委員会においても、チラシを作成配布し、文化財の防災に対する啓蒙を行った。

④ 第30回福島県民俗芸能大会

県内に広く継承されている民俗芸能のうち、価値の高いものを公開して、民俗芸能に対する認識を深めるとともに、記録保存を行った。

ア 期 日 昭和55年9月7日

イ 会 場 南会津郡南郷村体育館

ウ 主 催 県教育委員会、南郷村、南郷村教育委員会、福島民友新聞社

エ 出演芸能 沼沢のわかばやし(金山町)大倉の田植踊(飯館村)小塩神楽(伊南村)会津万歳(南郷村)両原の早乙女踊(昭和村)箱崎愛宕獅子舞(伊達町)駒形念仏踊(平田村)界の早乙女踊(南郷村)

オ 観 覧 者 約 1,000名

⑤ 第1回福島県民謡まつり

近年の急速な社会情勢の変化は、生活様式や風俗習慣など、生活のすみずみまで大きな変化をもたらしており、生活や仕事に密着して伝承されてきた民謡も変貌をとげ、古来の姿は日ごとに失いつつある。

これらの民謡を発掘して、できる限り本来の姿で再現して一般に公開し、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和56年2月15日

イ 会 場 福島県文化センター大ホール

ウ 主 催 県教育委員会、福島市教育委員会、NHK福島放送局

エ 公開曲目 瀬上節(福島市)糸取り唄(伊達町)伊達節(月館町)田植唄(大玉村)餅搗き唄(滝根町)はなっこ踊(棚倉町)靱打ち唄(いわき市)めでた(いわき市)そばほめ口上(会津高田町)玄如節(新鶴村)大漁歌い込み(相馬市)大漁祝い歌(相馬市)相馬の手踊(鹿島町)かんしょ踊(会津若松市)会津磐梯山(会津若松市)

オ 観 客 約 800名

⑥ 第22回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

昭和55年9月13日(土)、仙台市民会館で開催され、本県からは「高野三匹獅子」が出演した。

(5) 銃砲刀剣類の登録状況

美術品もしくは骨とう品として価値のある古式銃砲や、美術品として価値のある刀剣類の登録を、登録審査委員の審査に基づいて実施した。

① 登録審査委員

平原 松夫 福島市泉字泉川8-4
宇井 正三 安達郡白沢村白岩字大岩入133
堤 章 会津若松市馬場町5-1
武田 久夫 郡山市深沢2丁目2-19

② 登録審査会

期 日	会 場	鑑定数	不適格数	登録数	左の内訳		審 査 委 員
					刀 剣	銃 砲	
5月23日	会津若松 会 同 庁 舎	148	8	140	133	7	平原、堤、宇井
6月26日	い わ き 合 同 庁 舎	123	7	116	110	6	宇井、武田
7月24日	郡 合 同 庁 舎 山 舎	92	1	91	81	10	堤、武田
9月26日	県 庁	86	5	81	78	3	平原、武田
11月27日	会津若松 会 同 庁 舎	104	5	99	97	2	武田、堤、宇井
12月19日	原 町 合 同 庁 舎	37	2	35	34	1	平原、堤